

《お知らせ》

★総会のお知らせ：2023年5月14日（日）一般社団法人香川県助産師会通常総会は午前10時から高松市いのちの応援舎で開催されます。是非会員の皆様の参加をお待ちしております。なお、総会御欠席の方は、同封の委任状の提出を香川県助産師会事務所までお願いします。（締切4月30日まで）

★推薦委員会からお知らせ：令和5年5月14日（日）総会において令和5年度の役員改選を行います。推薦委員から推薦させていただいた候補者の方々です。

《候補者名》

会長 佐々木 三千代（新） 副会長 宮本 政子（新）
保健指導部会長 加藤 淑美（新） 勤務部会長 小松 千秋（新） 推薦委員 綱井 朝代（新）
会長、副会長、保健指導部会長、勤務部会長、推薦委員が交代予定です。
立候補される方は、4月30日までに推薦委員までお知らせください。尚当日の議上推薦を受けます。



4～9月の研修会及び行事

学会名 ・ テーマ 演題名 ・ 講師名	開催日時 場所	定員	参加費 会員/非会員
日本助産師会第96回通常総会 第79回日本助産師学会 テーマ「助産師と産む、その真髄」 それぞれが助産を問う	5月26日（金） 日本教育会館 27日（土） オンライン開催	—	※詳細は日本助産師会ホームページ、学会誌にて
研修会 「乳児の成長発達支援 ～生後4か月までの支援の実際～」（仮） かがわ総合リハビリテーション福祉センター 作業療法士 大野 香織	7月2日（日） 10:30～12:00 いのちの応援舎	25	1000円 / 2500円
研究会 「性教育の動向とプレコン委員会実践報告」（仮） 助産師会プレコン委員会 アドバイザー：真鍋 由紀子 委員長：竹内 美由紀	9月3日（日） 10:30～12:00 いのちの応援舎	25	500円 / 1000円

* 年間の研修会・研究会計画は、総会にてご提示します。

* 計画変更は、「とらうべ通信販売」及びホームページに掲載します。

《参加の申し込み》

すこやか助産師センター事務所へ、電話またはFAXで申し込みをしてください。

Tel：087-844-4131 Fax：087-844-4130

電話受付時間：月から金曜日の10:00～16:00（祝祭日を除く）

とらうべ通信

2023.4月号
No.102

発行所：（社）香川県助産師会 高松市春日町1176

発行責任者：宮本 政子 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

会長挨拶

会長 宮本 政子

3月に入り暖かな日が続き、例年に無い速さで桜が開花しており、お花見が楽しみな季節になりました。会員の皆様には母子やご家族のために日夜ご苦労いただき、心より御礼申し上げます。

今年は桜の開花だけでなく花粉の飛散も早くて量も多いようです。一方気温の上昇のためかCOVID-19の感染は落ち着き、3月13日からは防御のための国の指針も見直されました。マスクの使用が自己判断に委ねられることがニュースで取り上げられておりますが、病院など医療施設での妊産婦様への対応など、変化があれば教えていただきたいと思っております。

令和4年度、香川県助産師会では①すこやか助産師センター活動、②会員研修、③特別委員会活動、④県や市町の委託事業を実施しました。令和3年度にはCOVID-19のためにマタニティヨガや産後ヨガなどの教室活動や、「ほっと相談室」を休止する事がありましたが、令和4年度は一度も休止することなく継続できました。妊娠中や乳幼児を育てているお母さま方の不安を表出する場として今後も継続できることを期待しております。会員研修については、感染対策も考慮して令和4年度にはオンデマンド研修を計画しました。準備が大変な割に受講される方が少なかったため、オンライン研修の方法を検討する事が課題として残りました。5年度の研修計画につきましては今号に掲載しておりますのでご確認いただき、多くの方のご参加をお待ちしております。

また、特別委員会活動では、産後ケア評価委員会で産後ケアの内容や普及方法について検討し、大学生等を対象とした出前講座も3年ぶりに再開しました。そして令和5年度総会は「いのちの応援舎」にお集まりいただき、3年ぶりに対面で開催することになりました。オンラインのメリットもありますが、会員の皆様に直接お会いしてご意見をいただくことが大切と考えており、皆様の参加をお待ちしております。

最後になりますが平成29年度に会長に就任して3期6年が経過し、令和5年度総会をもって会長職を退きます。何を成したか振り返ってみても中四国地区研修とCOVID-19の対応に明け暮れた6年間でした。感染防止の名のもと年々活動が縮小して、これでよかったのかと考えこみます。ただ困難な時代であるだけに社会が助産師の専門的能力を必要としていることが明らかになりました。会員の皆様には更なる助産師としての専門的能力を磨き、期待に応えられる助産師であり続けて欲しいと思っております。六年間ありがとうございました。



妊婦健診を伴う 助産師外来の勧め

ぼっこ助産院 眞鍋由紀子

「日本のお産を守れ 第2弾 院内助産・助産師外来推進フォーラム」より

2023/1/29 厚生労働省看護職員確保対策特別事業の一環でフォーラムが開催されました。

その中で「すべての分娩取り扱い施設に院内助産・助産師外来を広げるためにすぐにやること」と題して日本赤十字社医療センター第一産婦人科部長 木戸道子氏より発表がありました。



日本赤十字医療センターでは1975年に助産師外来を開設し2005年よりチーム健診とし現在に至ります。チーム健診とはほぼすべての妊産婦が対象で、「助産師は助産師にしかできない役割がある。助産師はすべての妊産婦にケアを提供してほしい、そのためには産科医師と助産師がチームとなって専門能力を発揮しなくてはならない。産科医が医学的なプロならば、助産師はケアのプロである。お産には双方のプロが必要で両者はパートナーである。」という元副院長の言葉どおり20W頃より医師と助産師が交互に健診を担当し必要に応じて相互に相談・連携して対応しています。主な業務内容は、「医師：超音波検査・血液検査等医学的異常の早期発見等」「助産師：栄養・生活環境の問診と保健指導等生活に寄り添ったケアと乳房ケア・分娩前の保健指導等」です。車の両輪のごとく進んでいけばご自分らしい満足度の高いお産をすることができると考えます。厚生労働省が出してきている寄り添い型妊産婦支援をより良い方向で進めていくことができると考えます。

助産師が力をつけて産科医に認めてもらうことができる妊婦健診ができるようお互いに勉強していきたいものです。



素敵な助産師さん、見~つけた！

助産師会の皆様、はじめまして。前回の城下さんよりバトンを引き継いだ有木夕実と申します。家庭の事情もあり、長らく潜在助産師として深海におりましたが、宇多津町での乳幼児健診の診察介助の仕事に出会ったことから浮上し始めました。今ではマタニティセミナーや赤ちゃん訪問、産後ケアと活動の場をを広げて頂きました。また、国分寺のほっと相談室で毎月、保健指導の勉強もさせて頂いています。



私は大阪で生まれ育ち、学校も職場も大阪でした。結婚を機に大阪を離れ、知人のいない各地を転々とする中で4人の子どもを2年ごとに産み育てました。特に手のかかる頃の夫の仕事は忙しく、4人の子育てはほぼワンオペ状態、今と違って頼れる物は電話程度でした。子ども達には、「よく死なずに成人したよね～」と笑い話にしておりますが、どのように過ごしていたのかほとんど記憶に残っていません。病院勤務時代には知り得なかった育児の実情に忙殺されていたのでしょう。ただ、当時感じた育児の孤独感は心の中にひっそり残っているようですが…。

宇多津町は新旧入り混じった町並みで、核家族も多いところです。知人のいない土地での育児の孤独感を感じているママも多いのではないかと考えます。助産師としての知識・経験はまだまだ浅い私ですが、ママの孤独感を少しでも薄めてほしくて、健診などの機会には「〇〇ちゃん大きくなりましたね！これまでのママの頑張りですね～」などと、根っこにある“大阪のおばちゃん力”を出して、声をかけるようにしています。また、「困った時はいつでも電話してきてくださいね」とも伝え、一人じゃないと感じてほしい、貴重な育児の記憶を私のように無くさないように過ごしてもらいたい、と思っています。

今のママ達の少しでもお手伝いが出来るよう、助産師の端くれとしてこれからも地域で過ごしていきたいと思っています。どうぞ先輩諸姉の皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



トピックス



『不同意性交罪の罪名変更と性交同意年齢の引き上げ』

政府は「強制性交罪」の罪名を「不同意性交罪」に変更することなどを盛り込んだ性犯罪に関する刑法改正案を2023年3月14日閣議決定しました。被害者が「同意しない意思」を表わすことが難しい場合には罪になり得ることが明確にされています。

性交同意年齢は、若年者を保護するためのものです。現行の13歳は明治時代から変わらず、先進国の中で最も低い同意年齢です。今回の見直しでは、性的行為について自分で意思決定ができるとみなす性交同意年齢を引き上げ、16歳未満への性行為は処罰されます。年齢が近い者同士の行為は罰せず、13～15歳は加害者が5歳以上年上の場合が対象となります。

若者たちが被害者にも加害者にもならないよう、性教育などでセクシュアル・コンセント（性的同意）の大切さを伝える必要があります。

今国会で成立すれば、改正法の大半は今夏までに施行される見通しのようです。今後の動向にぜひご注目ください。



「安心・安全に赤ちゃんと一緒に出かけましょう♪」動画制作

香川県立保健医療大学助産学専攻科 第11期生 白川未歩 西川舞



私たちは助産学実習において「安心・安全に赤ちゃんと一緒に出かけましょう♪」をテーマに、県子ども家庭課・香川県警察本部交通部交通企画課およびJAF香川県支部の協力を得て動画を作製しました。このテーマに決めた理由は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出産後のお母さんと赤ちゃんのお出かけの機会が少なくなっているからです。出産後のお母さんと赤ちゃんが感染対策をしながら安全に楽しくお出かけできるよう、準備物、健診や予防接種、地域子育て支援拠点、正しいチャイルドシートの装着方法について紹介しました。

まず赤ちゃんと一緒にのお出かけではその重要性を伝え、退院後からのお出かけの機会について説明しました。特に、2週間健診・1か月健診の必要性、持ち物、準備のポイントについて紹介することで、健診に来てもらえるよう啓発を行いました。また「子育て県かがわ」情報発信サイトColorfulの二次元コードを貼付することで、お母さんがそれぞれ住んでいる地域の子育て支援拠点の情報にアクセスできるように工夫しました。動画の作成にあたっては、実習中にお母様方からお聞きした不安や疑問を解決できるように、実際のチャイルドシートを使用して、写真や動画を撮影し、お母さんやその家族がチャイルドシートを妊娠中に準備して、出産までに適切に取り付けできるように促しました。動画は、県ホームページ内の「子育て県かがわ」情報発信サイトColorful等で配信を行っています。ぜひご覧ください。

私たちは春から香川県内で助産師として働きます。母子やその家族、地域に貢献できるように精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。

動画はQRコードからもアクセスできますので、是非ご覧ください。



香川大学大学院医学系研究科看護学専攻助産学コース、香川県立保健医療大学助産学専攻科の皆様、ご卒業おめでとうございます！！